



令和4年度 妹背牛町防災訓練

発熱者の受付を担当



モー突進レポート

翔 SHOW TIME たいむ

田村翔惟です。今回の翔たいむは、大規模災害を想定した防災訓練に参加したお話です。避難所を開設している上の写真からも分かるように、たくさんの町民の方にも参加いただきました。

大雨や地震による大規模

災害を想定した防災訓練は10月29日、避難所に指定されている町総合体育館で開かれ、1000人を超える人たちが避難所の開設を体験しました。

まず、北海道総務部危機対策局危機対策課の調整員、河野浩一郎さんによる防災講話。「災害時に自分の周りで何が起きるかイメージし、日ごろから避難経路や連絡がつかない場合の対応などを家族と話し合ってください」と述べました。

続いて、避難生活に活用する段ボールベッドや間仕切りテントの組み立てを体験。新型コロナウイルスなどの感染症対策を講じた避難者の受入訓練もあり、私は体調不良を訴える避難者の受付を担当し、発熱者専用の別室に案内するスタッフに名前や症状などを伝えました。

感染症対策も実施



自衛隊員による炊き出し

昼食の時間に合わせ、陸上自衛隊員の皆さんに炊き出しを用意していただき、妹背牛産米のカレーライスや湯気立つ豚汁を味わいました。

体育館には、寝袋やエアートントなどの防災用品が展示され、寝心地などを確認する人も。訓練の終了時には、子どもたちが率先して後片付けを頑張る場面もあり、幅広い世代の人たちが協力し合い、防災意識を高める1日となりました。



子どもたちも積極的に参加